

五倍子

写真は五倍子。そのままゴバイシとも読みますが、短くフシとも読みます。ヌルデの葉にできる虫こぶのことで、原因となる虫はヌルデシロアブラムシ。樹木名としては、ヌルデよりもフシノキのほうがなじみ深いと言うかたが多いかもしれません。



五倍子はタンニンを多く含み、昔はお歯黒やインクの原材料として利用されました。現在でも草木染めの専門店では、染色材料として市販されているそうです。今年はなぜかたくさん落ちていたので、小遣い稼ぎになるかもと調べてみたら、「アブラムシが脱出する前に採取」と言うことで、今ごろ落ちているような穴の開いたものは、商品価値がないようです。残念。

ところで、草木染めの世界でとても親しまれている樹木に、ヤシャブシと言うのがあります。その実がタンニンを多く含み、染色材料として利用されるようですが、以前からその名称が気になっていたもので、ついでに染色関係の参考書で調べてみました。

漢字ではたいてい「矢車附子」と書かれます。これでは意味がわかりません。古い文献に「実は夜叉附子と称し五倍子の代用として染料に供す」という説明があるそうです。今ふうに命名すれば「ナンチャッテ五倍子」になりそうですが、昔の人は黒のイメージから文学的に「夜叉」を採用したのでしょう。